

A:十分に成果があった B:成果があった C:少しの成果があった D:成果がなかった

羅 針 盤			結 果	
	評価項目	具体的数値項目	評価	改善策 等
I 保護者との連携	1 保護者への情報提供	①「学校や子どもの成長の様子が分かる」と答える保護者が80%以上である。	A (90%)	○オクレンジャーやホームページによる情報提供を進めるとともに、子どもたちの学びの様子を伝えることができる学校だよりなど、記事の充実にも努めます。
	2 連携のための環境づくり	②学校の諸行事に参加している保護者が80%以上である。	A (99%)	○期日にゆとりをもって行事のお知らせをお届けできるように努め、保護者の方々が学校行事に参加しやすくなるよう配慮した行事計画を推進します。
	3 保護者への対応	③「学校は、連絡や相談がしやすい」と答える保護者が80%以上である。	B (87%)	○保護者の方々のお話にしっかりと耳を傾け、家庭との連絡を密にして、安心して連絡や相談ができる学校づくりに努めます。
II 確かな学力	4 分かる授業	④「授業が分かる」と答える児童が80%以上である。	A (95%)	○ICTの良さを生かした授業を積極的に取り入れ、子どもたちが自ら考えたり、試したりすることができる学習機会の充実にも努めます。
	5 基礎・基本の定着	⑤教科の基礎・基本が確実に身に付いている児童が80%以上である。	B (83%)	○教育活動全般を通して、話を聞くこと、文を正しく読み取ることができる力を伸ばし、学習したことを確実に自分自身のものにしていく学びの充実にも努めます。
	6 評価	⑥「児童の学力や努力を適切に評価し、その結果を生かしている」と答える職員が80%以上である。	A (97%)	○授業ごとに、子どもたちと学習の「めあて」を共有し、授業の「まとめ」と子どもたちの「ふり返り」を大切に授業を進めます。
	7 学習習慣	⑦「家庭での学習や読書を毎日する」と答える児童が80%以上である。	A (92%)	○家庭での学習を授業に生かすことができる授業づくりを積極的に進め、家庭学習と授業との繋がりを大切にして、家庭での学習習慣の確立にも努めます。
III 豊かな心	8 挨拶・言葉づかい	⑧進んで挨拶や返事ができる児童が80%以上である。	B (89%)	○教職員が積極的に声を掛けるなど、挨拶の励行に努め、子どもたちが気持ちよく挨拶や返事ができる明るい学校づくりを進めます。
		⑨時や場・相手に応じた適切な言葉遣いができる児童が80%以上である。	B (89%)	○学級活動や日常生活のなかで自分たちの言葉遣いをふり返り、時や場・相手に応じた適切な言葉遣いについて考えることができる機会を大切にします。
	9 いじめのない温かな人間関係	⑩「学校へ来るのが楽しい」と答える児童が80%以上である。	A (91%)	○子どもたちが学校に来ることの目的を見出すことができるように、学校ならではの出会いを大切にすることで、一人一人のやりがいや自己肯定感を高められるように努めます。
		⑪いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100%である。	B (92%)	○いじめを自分ごととして考えることができる学習の一層の充実を図り、いじめをしない、許さない心や行動を身に付けられるよう努めます。 ○子どもたち一人一人の悩みや不安を丁寧に聞き取り、いじめの早期発見・早期解決に努めます。
		⑫相手の立場や気持ちを考えた適切な言動がとれる児童が80%以上である。	A (95%)	○道徳や学級活動を中心に、相手のことを考えた言動をとれるために必要な社会性を身に付けられる学習の充実にも努めます。

A:十分に成果があった B:成果があった C:少しの成果があった D:成果がなかった

羅 針 盤			結 果	
	評価項目	具体的数値項目	評価	改善策 等
III 豊かな心	10 学校や家庭のルール	⑬学校のきまりや約束を守って生活している児童が80%以上である。	A (98%)	○きまりや約束を守ることの大切さを学ぶ機会の充実を図り、自分の行動をふり返り、きまりや約束を守れた経験をより多く自覚できるように努めます。
		⑭「家族の一員としての役割をもって生活している」と答える児童が80%以上である。	B (85%)	○家事の手伝いや家庭で過ごす時間を大切にすることを励行するとともに、家庭での約束事について親子でお話しができる機会をつくれるように努めます。
		⑮児童の間違った言動を適切に指導している職員が80%以上である。	A (100%)	○間違った言動について子どもたち自身の気付きを大切に、よりよい言動について職員が子どもたちと一緒に考え、確かめ合える指導を心掛けます。
IV 健康・体力	11 基本的生活習慣(家庭教育)	⑯「毎日、朝食を食べて登校している」と答える児童が80%以上である。	A (97%)	○学級活動や給食指導など、食の大切さについて学習する機会を大切に、食生活を通じた健康な生活習慣や体づくりについて学べるよう努めます。
		⑰早寝・早起きをしていると答える児童が80%以上である。	B (81%)	○「Gライフログ」を活用し、子どもたちが日々の健康状態を自ら確かめる習慣づくりを進めるとともに、健康的な生活を送ることの大切さを学習する機会を大切にします。
	12 体力づくり	⑱「毎日、体を動かして遊んだり、運動したりしている」と答える児童が80%以上である。	B (89%)	○体育の授業や業間活動での体力づくりを通して、体を動かすことの大切さに気づき、自分のペースで楽しく運動できる習慣づくりを進め、体育好きな子どもたちの育成に努めます。
V 安全確保・施設設備	13 学校の施設設備	⑲「毎月、学校施設の安全点検を行い、課題のある箇所については確認され、適切な処置がなされている」と答える職員が80%以上である。	A (94%)	○職員による毎月の安全点検を徹底し、安全な施設・設備の維持・管理を進めるとともに、課題が見つかった際には、全職員による共通理解のもとに早急に改善策を講じ、安全安心な学校管理に努めます。
	14 学校の安全対策	⑳「交通安全、防犯、避難、救護などを想定した訓練を学期1回以上実施し、安全(危機)管理マニュアルに沿って指導を徹底している」と答える職員が80%以上である。	B (84%)	○学期1回以上の訓練を確実に実施し、訓練状況をもとに実際の場面を想定したマニュアルの見直しと指導の徹底を進め、子どもたちが安全に避難行動をとることができるようにします。
	15 安全対策の連携	㉑「登下校の安全確保のため、学校・家庭・地域が連携した取組を行っている」と答える保護者が80%以上である。	C (78%)	○通学路における危険箇所を把握するために、定期的に保護者、地域の方々のご意見をお聞きし、子どもたちへの注意喚起を徹底するとともに、解消に向けて地域への協力を働き掛けます。
VI 進路・生き方	16 夢や希望	㉒「将来の夢や希望がある」と答える児童が80%以上である。	B (88%)	○教育活動全般を通じて子どもたちが自ら考え、判断する学びを大切に、常に目標をもって学習したり、生活したりする習慣を身に付けられるようにすることで、自分が思い描く未来や希望を大切にできる児童の育成に努めます。
		㉓「親子で将来の夢や希望について話し合うことがある」と答える保護者が80%以上である。	C (78%)	○子どもたちが記したキャリア・パスポートの定期的な持ち帰りを進め、お子さんが考えていることや目標としていることについて保護者の方々にご覧いただくとともに、将来の夢や希望について話し合う機会を設けられるようにします。

※自己評価欄に記載した数値は、肯定的な評価(アンケート調査の結果4・3)の割合です。